

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和元年 11月 27日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3472501562		
法人名	医療法人社団あんず会本田クリニック		
事業所名	グループホーム金泉		
所在地	広島県東広島市安芸津町三津4333-1 (電話) 0846-46-1080		
自己評価作成日	令和元年8月1日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3472501562-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3472501562-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 FOOT&WORK
所在地	広島県安芸郡海田町堀川町 1番8号
訪問調査日	令和元年 11月 27日(水)

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

起床時・毎食後口腔内の清潔保持に努め訪問歯科による口腔ケア・義歯調整を定期的に行なっている。歯科医による勉強会を定期開催し知識の習得とレベルアップに繋げている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

グループホーム金泉は利用者お一人おひとりに出来る事や好きな事を把握され、一つの家での生活者としての関わりを学び・感じ・笑い、楽しみ事や活躍出来る場面を作り、利用者が喜びや張合いのある日々が過ごせるように支援している。日々の関りの中で利用者お一人おひとりに寄り添い、言葉や表情、行動、めずらしい事や気になる事、上手に出来る事、好きな食べ物等を介護記録に記録している。その中から、利用者がどのように暮らしたいのか、何をしたいか等、利用者の言葉にしづらい思いをくみ取り介護計画を立て、「その人らしさ」を大切にしたい暮らしが出来るように支援に努めている。緊急時や夜間は協力医療機関と24時間オンコールで医療連携体制をとられて、利用者が適切な医療が受けられるよう連携を図っておられ、利用者や家族の安心に繋がる支援に取り組まれている。

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和元年11月27日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3472501562		
法人名	医療法人社団あんず会本田クリニック		
事業所名	グループホーム金泉		
所在地	広島県東広島市安芸津町三津4333-1 (電話) 0846-46-1080		
自己評価作成日	令和元年8月1日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=3472501562-00&amp;ServiceCd=320">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=3472501562-00&amp;ServiceCd=320</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 FOOT&WORK
所在地	広島県安芸郡海田町堀川町 1番8号
訪問調査日	令和元年 11月 27日 (水)

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>トイレ誘導等は、個々の排泄パターンに合わせて行い、トイレでの排泄を促しております。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p> </p>
----------

自己評価	外部評価	項目	自己評価			外部評価		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容		
<b>I 理念に基づく運営</b>								
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	見える所に掲示し常に笑顔で入居者と関わる様努めている	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念「安心・信頼・笑顔」を玄関・各フロアのキッチン・管理室に掲示している。管理者は職員が地域との繋がりを持つ事で、利用者が毎日活き活きと暮らせるように、理念の共有を図り実践に繋げている。				理念について深く理解し、研修での接遇や認知症についての深い理解と実践ケアについて更なる研修を行い、ケア技術を高めたいとの希望があり、今後実践される事を期待します。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の催し物清掃活動には参加している	自治会に入会して、近くの駅の公衆トイレの掃除を長年続けており、又、小学校の草刈りボランティアにも参加している。事業所に神楽団が訪問したり、7月には、祇園祭があり神輿が立ち寄って下さったり、敬老会・二十三夜祭に参加したり地域と交流している。金泉祭りで地域の方が屋台でコーヒーショップ・寿司店を出して下さり、地域の方と交流している。				
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議を定期的開催し地域の方に参加を募り行事等協力を得て理解に努めている。					
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議の議事録を開示し、入居者・ご家族にお知らせしている	2ヶ月に1回、運営推進会議を開催し、区長・自治会長・地域包括支援センター職員・家族・民生委員・施設長・部長・職員が参加し、事業所の活動状況や利用者の状況や行事予定、豪雨災害について、防災訓練報告、身体拘束に関する報告をしている。そこで出た意見は、会議で検討しサービスの向上に活かしている。				
5	4	○市町との連携 市町担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域包括会議に出席し連携作りをしている。行政からの正しい情報収集に努めている。	市担当者とは相談等あれば電話や直接出向いて、情報交換や運営上の疑義について相談して助言を得る等、協力関係を築くように取り組んでいる。地域包括支援センター職員とは、運営推進会議時に意見交換をしている。				
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	会議で話し合いをし理解に努め施錠時間等の取り組を行っている。	毎月「身体拘束廃止委員会」を実施し「身体拘束廃止マニュアル」を基に、スピーチロックも含めた内部研修も実施している。職員は身体拘束の内容や弊害について正しく理解している。玄関は施錠をしないで、外出したい利用者がいれば職員と一緒に出かけている等、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。				

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	会議で話し合いをし理解に努め防止に努めている			
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している。</p>	社内研修・自己学習等で学んでいる			
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約時説明し意見を伺い話し合いを行い理解・納得を得ている			
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	ご家族様面会時近況報告させて頂く中で意見要望を伺い理解を得ている	事業所の相談窓口を設けており、意見箱の設置もしている。家族からは面会時や運営推進会議時、金泉祭り・行事参加時、電話等で意見や要望を聞いている。毎月、利用者を担当している職員が、「お知らせ」として、管理者の挨拶や利用者の状況(生活の様子や身体面)と苦情・要望はがきを請求書と一緒に送付して、家族が意見を言いやすいように工夫している。		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	毎月代表者会議を行っている	管理者は毎朝夕のミーティング時や毎月実施のユニット会議や全体会議、カンファレンス時に職員の意見や提案を聞いている他、日頃からユニットに出向き、職員に気軽に言葉をかけて、意見や要望を出しやすい雰囲気作りにも努めている。それらの意見を検討し運営に反映させている。		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるような職場環境・条件の整備に努めている。</p>	部署会議で職員に確認している			
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	外部研修・施設内研修への参加・報告、全体研修を年5回設け自己啓発に努めている。			

自己 評価	外部 評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	外部研修等の参加を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	本人と関わる時間を設け、関わりを持ちながら要望等を確認し意志を確認する様にし良好な関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居の際話しを伺い要望等を確認し、情報収集する為時間を費やしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	支援が必要な時には柔軟に対応している		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	本人の意志や主体性を大切に思いながら関わる様務めている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会の際等話しを伺い家族の気持ち・思いも大切にしている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの物は継続して使用して頂き 馴染みの美容院・病院も希望時には継続利用している。	家族や親戚の人、友人、近所の人、デイサービスを利用している知人や職員等の来訪があり交流している。家族の協力を得て、美容院・理髪店の利用、一時帰宅・墓参り・法事・葬式等に参加し、馴染みの関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	良好な関係作りに努めている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	相談があった場合は対応している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	要望等の把握に努め可能な範囲で対応する様努めている	普段の関わりの中で行動や会話で本人の思いや希望、意向を把握するようにしている。日々の関わりの中で利用者の様子や言葉等をケース記録に記録して、思いや意向の把握に努めている。職員は、利用者が出来る事か疑問を感じた時は職員間で話し合っ検討している。困難な場合は、家族から聞き取って検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメントを行っている			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の生活状況を記録に残し把握に努め情報を共有している			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	不十分ではあるが、本人・家族の思いを把握し尊重した上で関係者と話し合い計画作成に努めている	利用者の様子を日々介護記録としてタブレットで記録し、職員と計画作成担当者を中心にして、本人の思いや家族の意向、主治医や家族・管理者・職員の意見を参考にして、カンファレンス・モニタリングを実施し、6ヶ月毎に介護計画を見直しをしている。利用者の状態に変化があった場合には、その都度、見直しをして、現状に即した介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	介護計画に対して日々の記録は行っていない			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	不十分ではあるが買い物に出掛けたりしている			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域資源の把握に努め安心・安全な暮らしが出来る様努めている			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	努めている	本人及び家族の希望を聞き、従来通りのかかりつけ医と事業所の協力医療機関をかかりつけ医としている。かかりつけ医は2週間に1回往診があり、歯科医は毎週往診がある。従来のかかりつけ医や他科受診は家族の協力を得ながら、職員が受診支援をしている。		
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	必要時には協力を得ている			
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	書面で情報提供したり直接病院に伺い話を聞いている			
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	出来るだけ早い段階でご家族・主治医・職員と話しをし支援出来る様努めている	重度化や終末期の対応については、状態の変化が合った時に事業所で出来る対応について家族に説明している。実際に重度化した場合は、その都度、家族や医師・看護師・施設長・管理者・職員で話し合い、入院や他施設への移設を含めて、方針を決めて共有し、看取りに関する指針を基にチームで支援に取り組んでいる。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	心肺蘇生・AED研修を定期的に行い指導を受けている			
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	定期的に避難訓練を開催し地域への参加も募っている	年2回、消防署の協力を得て、併設施設(通所介護事業所)と合同で、昼夜の火災を想定した通報訓練、避難訓練、消火器の使い方、避難経路の確認を利用者も参加して実施している。災害対策も実施しており、地域の方との連携して協力する体制が出来ている。		
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。</p>	プライバシーに配慮した対応に努めている	職員は法人の研修で学び、利用者の人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。気になる言葉かけに気づいたときは管理者が指導している。個人記録は保管し、取り扱いに注意している。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の意志が伝えら自己決定出来る様声掛けを行っている			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりの理解に努め希望に沿った対応が出来る様努めている			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	洋服選び・髪型その人らしいおしゃれができる様配慮に努めている			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者個々の状態を理解した上で一緒にできる事は行っている	3食とも配食業者に依頼し、御飯・みそ汁は作っている。利用者は、盛り付けや箸配り、テーブル拭き、下膳、食器洗い等出来る事を職員と一緒にしている。職員は食事の形状(刻み、とろみ、ミキサー食)を工夫したり、おはぎを一緒に作ったり、おやつにケーキ等を作る等、食事を楽しむ為の工夫をしている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	気を付けている十分な配慮は出来ていない			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	週1回歯科衛生士による口腔ケアを受け個別指導を受け実践している 定期的に口腔ケアの勉強会を開催している			
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	1人ひとりに応じ対応している	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、自尊心や羞恥心を損なわぬよう、尿意・便意が曖昧な利用者には適時声掛け・誘導し、拒まれず気持ち良くトイレに行けるように自立に向け支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	充分できていない薬に頼っている部分がある			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	希望やタイミングに応じて行っている	入浴は2日に1回を基本としていて、利用者の思いや体調、外出予定等に合わせて臨機応変に対応している。毎日の入浴希望者には対応している。入浴は本人とコミュニケーションを取る良い機会なので、色々な話をしながら介助している。入浴拒否の時は無理じいせず、時間をずらしたり日にちを変更して支援している。利用者の状態に合わせて、清拭や足浴、部分浴等行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	支援に努めている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	不十分ではあるが支援に努めている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	希望に応じた対応ができる様努めている	事業所周辺の散歩や海岸縁へ出かけたり、スーパーに嗜好品を買いに出かけている。又、地域の祭りに参加したり、お花見に公園に行ったり、近隣のお寺に散歩に出かけている。家族の協力を得ての帰宅や、墓参り、法事、葬式への参加等戸外に出かけられるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	外出の際行える人には行って頂いている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	家族の協力を得て行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	季節の花を飾ったり快適な生活環境作りに努めている	居間兼食堂は、自然の光が差し込んで明るい。椅子やソファ等を配置し、ゆっくりくつろぐ事が出来るよう工夫している。台所から食事の準備をしている音や料理の匂いがして、家庭的な雰囲気を感じる事が出来る。利用者一人ひとりが心穏やかに1日を過ごせるよう、テレビ視聴や食事がしやすいようにテーブルや椅子の配置を工夫している。温度や湿度、換気、清潔に配慮し、利用者が居心地良く過ごせるように工夫している。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	ソファ掘りごたつ等重自由な共有空間作りをしている		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	持参して頂いている	ベッド・テレビ・ラジカセ・筆筒・机・アルバム・水筒等、自由に使い慣れた物を持ち込み、カレンダー・写真等を掲示したり、筆筒の上に置く等、居心地の良い空間で過ごせるように工夫している。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	アセスメント・モニタリング等でできる事わかる事等の把握に努め家事・ゴミ捨て・掃除等は一緒に行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を見えるところに掲示し、できるだけ笑顔で利用者に関わるように、努めております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	地域の清掃や行事、その他の活動に参加しています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症サポーター養成講座を職員が受講し、オレンジリングを身に付けています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議の議事録を開示し、入居者・ご家族にお知らせしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	地域包括会議に、出席しています。制度改正や介護技術などの、新しい情報の入手を心がけています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	夜の施錠時間、朝の開錠時間を決めて、厳守しています。日中は、施錠せず、入口センサーを設置して対応しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	社内研修等で学習し、虐待防止に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	社内研修で、学習しています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には、契約書の内容等、十分な説明を行い、ご家族がわからないところは、丁寧に説明しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族に面談したとき、意見や要望を伺い、反映させるようにしています。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	各部署の部署長会議や、担当部署会議を開催して、職員の意見や提案を聞く機会を設けています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	部署会議の中で、各職員に確認しています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修委員会を設け、毎月社内研修を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	外部研修に参加して、同業他社とのネットワークづくりを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	新しい環境に慣れるよう、様子観察をしながら、丁寧にコミュニケーションをとらせていただいています。様子観察は、記録させていただいています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族が来られた時、ご本人様の日々の生活状態を説明し、家族からの意見や要望を、伺っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入所時に、ご家族の意見を伺いながら、ご本人様の状態を確認し、対応させていただいています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	本人の思いや、主体性を大切に、入居者に関わる様に努めています。		
19		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族が来られた時、お話をさせて頂き、家族の思いやわからない事、不安に思っていることなど、対応させて頂いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの物を、お部屋に持参していただいています。また、馴染みの美容院などは、継続して利用して頂いています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士が良好な関係になる様、環境整備など、工夫しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	相談があれば、対応させていただいています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	出来る範囲で、本人の思いに対応するように努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメントを行っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日、様子観察し、記録しています。状態に変化があれば、各職員から意見を伺い、対応しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	不十分ではあるが、できるだけ本人と家族の思いを把握した上で、関係者と話し合い、作成に努めています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	介護計画に対しての、日々の記録は出来ていません。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	地域行事の、文化祭や季節の祭りなどに、参加しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域資源の把握に努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	かかりつけ医の受診に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	必要時は、協力を得ています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	情報提供をおこなっています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	出来るだけ早い段階で、主治医の意見を伺い、ご家族様と今後の生活支援について相談させていただいています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	定期的に研修を受けています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に、消防訓練を行っています。また、他の災害等の、社内研修を行って、学習しています。		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	プライバシーを考えた対応に、努めています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者の自己決定が出来る様、声掛けを工夫して、対応しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その日の希望に、できるだけ対応出来るように努めています。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	身だしなみには、気を付けています。起床時の洗顔・整髪で、身だしなみを確認しています。また、衣類が汚れたときは、更衣しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の盛り付けなどを、入居者と職員が一緒に行っています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	気を付けはありますが、水分摂取などは、不十分なところがあります。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、義歯の清掃や、歯磨きを行っています。週1回、歯科医院から口腔の確認と、口腔ケアを受けています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	入居者の状態に応じて、対応しています。出来るだけ、ご本人で行って頂くようにしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	薬に頼っている部分が多い。		
45	17	○入浴を楽しむことのできる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	希望に応じて、入浴して頂いています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	不十分ではあるが、本人の好まれる活動を行えるように、努めています。レクリエーション活動を充実させるように、努めています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	希望に応じて、対応に努めています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	買い物に外出した時等、行える人には行って頂いています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	家族の協力を得て、行っています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	清掃保持に努めています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	馴染みの方とゆっくり過ごせるよう、環境づくりをしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	馴染みの物を持参して頂いています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	役割を持った生活を送っていただくため、日常生活での軽度な必要作業を提供させていただき、様子観察をしながら対応させていただいています。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム金泉

作成日 令和 元年 11月 28日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念に準じたケアが充実していない	1人1人尊厳ある生活をして頂く	カンファレンスの確実な実施 認知症に対する理解 個別ケアの実施	1年間
2	13	職員が専門職としての知識が不十分	職員の質の向上	自己学習の実施 内部・外部研修の参加 勉強の実施	1年間
3	48	レクリエーションの実施が出来ていない	生きがいのある生活をして頂く	個々の状態に沿ったレクの実施 体操・運動・散歩身体を動かし脳を活性化 毎日継続して実施する	1年間
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム金泉

作成日 令和 元年11 月 28日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	42	一人ひとりに合った、口腔ケアが出来ていない。	正しい口腔ケアの実施を行う。	毎月一回、歯科医による勉強会を開催して、正しい口腔ケアを実施するように努めています。実践した内容は、記録するようにします。	1年間
2	38	個別ケアの充実	個別にできる事を把握し、充実した日々を過ごして頂く。	日々の状態を観察し、記録に残しておく。カンファレンス会議を開催し、過剰な介護を行わないようにする。	1年間
3	48	レクリエーションの強化	日々の生活を楽しくしていく。	運動や作品作り、脳トレなどの時間を設ける。	1年間
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。